



発行所
徳島市雑賀町
東開21番地1
一般財団法人
徳島県遺族会
TEL (088) 636-3212
FAX (088) 636-3213
http://izokukai.jp/
発行責任者
坂千代 克彦
印刷
グランド印刷株

理事・監事・評議員研修会を開催

令和四年二月二十五日
(金)、「令和三年度 徳島県遺族会 理事・監事・評議員等研修会」を護国神社参集殿で開催し、五十名の参加をいただきました。



例年の研修会は宿泊を伴う日程で開催いたしましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、日程を短縮した

形での開催といたしました。

研修会では、ご英霊への感謝の黙祷、坂千代会長による挨拶の後、研修を開始、まず、徳島県副知事の勝野美江氏より、「徳島の魅力度アップに向けて」と題して講演をいただきました。勝野副知事は徳島県出身、農林水産省や内閣官房東京オリンピックピック・パラリンピック推進本部事務局などで活躍され、令和三年十一月より徳島県副知事に就任、徳島の魅力を上げるための指針を示していただきました。

続いて令和三年度の事業実績報告及び映像研修として、これまでの活動内容報告の後、新聞や放送での遺族会事業の取り上げ状況が報告されました。

この後公務多忙な中、参議院議員中西祐介総務副大臣にお越しいただいたので情勢報告をいただきました。

最後に、令和四年度事業計画(案)の説明を行いました、研修会を終了いたしました。今回の研修会では、現時点での最新の情報共有と意見交換を行うことができ、今後の遺族会活動に資する研修であったものと考えております。



徳島県戦没者記念館「あしたへ」第十二回特別企画展 『井戸も掘る医者 ペシャワール会の医療活動・緑の大地計画』を開催

日本では戦後七十六年余が経過し、戦後生まれの方が八割を超え、戦争の話を聞く機会が減っています。さらに新型コロナウイルス感染症の影響もあり、追悼式や慰霊祭といった戦禍の記憶と教訓を伝える機会も少なくなっています。

が終了して七十六年たった今でも、世界各地で内戦や紛争が行われており、多くの人が命を失い、または難民となっており、または難民となっており、また、苦勞している状況があること等を知らない人が多いのが現状です。

戦争で犠牲になられた方々は、特別な人たちではなく、それまで普通に暮らしていたところを、戦争という行為が無残にも命を奪われてしまった人がほとんどであったこと、日本が参加した戦争

今回の特別企画展では、ペシャワール会が行っている、砂漠化した農地を回復し、食料不足の解消や生活環境を良くするための活動を紹介することで、戦争等により発生する事実と平和の在り方について、多くの方々に考えていただくための一助となることを目的とし、一月十四日(金)から二十三日(日)まで、徳島県戦没者記念館「あしたへ」におきまして、特別企画展を開催いたしました。



本企画展では、これまでと違った視点からの平和について考えるアプローチをとったことから、企画展開催前より多くの方からのお問い合わせ

せをいただき、また、県内各マスコミの方から取材をしていただけたなど、多くの反響をいただくとともに、実際に来場いただいた多くの方が長時間の映像上映を最後までご覧いただくなど、平和の在り方について考えて頂く機会を提供できたと考えています。

今後とも記念館では、戦争に関わる事実を、広く正しく語り継いでいくために、工夫を凝らした展示を企画してまいります。

会員の皆様も、機会をとらえて足をお運びいただけますとともに、会員以外の方々へのお声かけもお願いいたします。



語り部事業講演要旨

●第66回語り部事業 1月8日(土)
「戦後 母と過ごした遺児の人生」

徳島市

上浦 喜代志氏 (80)



私は真珠湾攻撃から12日後に生まれた、太平洋戦争の落とし子です。終戦時は幼く、記憶はありません。そこで幼稚園以降の「遺族家庭の生き様」の話をいたします。

父の戦死は昭和20年4月、享年35才6ヵ月で、私が3才5か月の時です。学年が2つ違う年子の兄はかすかに戦争の記憶があるそうです。

或る朝、目を覚ますと母のすすり泣く声が聞こえます。「お母ちゃん、どないしたん」と尋ねると、「お父ちゃんが死んだけん、もう戻ってこん」と、私を抱きしめて応えました。父の記憶のない私には、母の涙目が辛かった。

父は貞光、母は半田出身、共に農家が嫌だったようです。父は徳島市で化粧品の外商をしており、母と見合い結婚、家財道具も揃って無い借家での生活、そんな中で兄と私は生まれ育ちました。父は、結婚後5、6年で召集、海軍入隊後、輸送船美保丸で戦地に向かう途中に魚雷を受け、帰らぬ人となりました。

その後どのように母が私達を育てたか、借家の3坪余りの土間で、化粧品や雑貨を販売していました。子育てもあり、仕入れも大変だったようです。その後空襲により半田に疎開、終戦を迎えると、「早く帰らねば、お父ちゃんが帰った時にいかん」と、元の借家に戻って参りました。昼間は店頭販売、夜遅くまで内職、そんな日の繰り返し。今も忘れられない光景があります。建付けが悪く、すきま風が入る暖の無い部屋で、1組の布団に親子3人で寝るんです。母は、はみ出た背中に座布団を掛けて寝ていました。母の恩に感謝です。

小学校時代は、よく友人と焼け跡に集まり、鉄屑等を拾って売りに行く、それでお菓子を買ったりして遊んでいました。ある日、近所に痩せた白い犬が繋がれていました。見ていると、「飼うのなら、連れて帰ったって」と言ってくれたのです。寂しい我が家に仲間が増えました。徐々に慣れてくると、朝は私の顔を舐めて起こし、登校すると校舎の側で帰りを待っている。寂しい時、辛い時、どれ程癒された事か、一緒に過ごした12年間は家族の一員でした。

中学生の頃は、早く金儲けして母を楽にしたい、そんな事ばかり考えていました。3年生の時、先生が「これからは学歴が必要になる、高校だけは」と度々家に立ち寄り、進学を進めてくれました。就職希望の私は、合格が難しい県下一の高校を志望しました。受験までの5ヵ月余り、放課後は毎日マンツーマンで勉強、そんな先生の熱意に、合格は無理でも

誠意には応えよう、と考えるようになりました。「誠意は人を制す」です。受験が近づくと、過去5年間の入試問題を丸暗記。一心不乱に、頭に入るものは全て詰め込みました。

発表の日、「運は天に任せる」と家でいると、友が合格を知らせてくれました。高柳健次郎の「どんな落ちこぼれでも考え続ければ答えが出る」という言葉が人生の教訓となりました。合格の報に先生は涙を浮かべて喜んでくれ、お祝いに万年筆をくれました。卒業後も、いつも注視してしてくれた人生の恩人です。

高校生になると、午前は授業、午後は友人に代返を頼み塗装工場でアルバイト。貰ったお金は自分の学用品や小遣いに充てる。家計や母の苦労ばかり気にしていたので、深夜まで働いても辛いと思いませんでした。そんなある日、兄は県外で働くことが決まり、私は家を離れられなくなりました。

昭和35年3月高校を卒業、化粧品店を受け継ぎましたが、売り上げは伸びず、買掛金が増えていきました。ある時、これではいけないとバイクを購入、訪問販売を始めました。10軒位訪問すれば数軒は買ってくれましたが、時折、押し売りと思われ戸をピシャリ、みじめな思いで次の訪問が出来ない時もありました。そんな体験をすると、人情が大切である事が心にしみつきます。今でも依頼を受けると、なかなか断れずに妻から注意されます。

父の分、母の長生きを願っていただけに、母の死は痛恨の極みでした。転倒し骨折、家に帰らなかつただろうに、病室で一人寂しく逝ってしまいました。近くの病院なのに、死に目に会えずの別れ、人生最大の不覚です。平成18年晩秋、88才で天国に逝きました。1回叱っても、後で10回褒めてくれるような優しい母でした。もっと母に尽くすことができたのではないかと、今も後悔しています。親孝行したい時には親は無いです。

父を戦争で亡くし、得られない事も沢山ありましたが、人より早く社会に出た為に得られたものもあつたと思います。天国の父が喜んでくれたらと30歳で遺族会に入会、同志と共に50年、昨年傘寿となりました。サムエル・ウルマンの言葉「歳を重ねただけで人は老いない、理想を失った時、始めて老いが来る」。人生100年時代、まだ20年あります。運動、習い事、恋、希望を持って過ごしてください。

「人生とスポーツは後半が面白い」ご静聴有難うございました。



戦没者記念館だより — 写真展示数 8,130 柱 (R4.2.28 現在) —

▶ 来館者のお声

- 2人の兄と義兄。若くして逝った3人の思い出に浸る事ができ、新たな悲しみと今の幸福をかみしめ、これからも平和な時代が続く事をお願いしました。(80代女性)
- 語り部などを平日に聞かせて頂ける機会があれば聞いてみたい。土日は仕事で来れないので。(40代女性)
- 日常で戦争を知るきっかけが少ないので、出かけた際に各県の護国神社に立ち寄っています。「戦争はダメ」と頭では理解していますが、伝えることが出来ていないので、まずは自分自身が平和学習をする必要があると考えています。このような記念館があるのは大変意味のあることだと思います。(40代女性)
- 学校の校外授業で来館し、たくさんの方々の遺品や赤紙、遺書など実物を見たことがなかったものをたくさん拝見することができたのがとても心に残った。徳島だけでもこんなにたくさんの方々が犠牲になっていることを知り、ショックもあったが勉強になった。(10代女性)
- 英語での説明があるともっと広く伝えられるかと思えます。(30代女性)
- 私も今年77歳。亡くなったお父さんに一言、「お父さん」と呼んでみたかった。生きて会えなかった事が残念です。(70代女性)
- 中村医師のペシャワール会の企画展を見に来た。ビデオを見て大変感動した。また、戦没者の展示を見てあらためて戦争の怖さを実感した。(70代男性)

厚生労働省主催
令和四年度
海外慰霊巡拝のお知らせ

厚生労働省主催による令和四年度慰霊巡拝の参加者を募集しております。関係地域のご遺族で参加希望の方は徳島県保健福祉政策課（電話088-621-2170／直通）までお申し込み下さい。

■実地地域・日程等

下表一覧のとおり

■参加資格

実施地域での戦没者の遺族

- ・戦没者の配偶者（内再婚した者を除く）、父母、子、兄弟姉妹、参加遺族（子・兄弟姉妹）の配偶者、戦没者の孫、戦没者の甥・姪
- ・長旅の旅行及び現地の気候風土に耐えられる方（内定後医師の診断書を提出して頂きます。）
- ・介助者の同行

（身体の一部に不自由があり、介助者が同行することにより参加が可能になる場合は、家族等介助者としてふさわしいものの同行を認めます。）

※実施時期・期間等は、相手国の都合等により変更することがあります。

※参加費用（実費）の目安は、海外地域の場合はおおよそ二十万円～三十五万円、硫黄島の場合はおおよそ二万円～三万円です。参加する遺族代表に旅費の三分の一相当額の補助金が政府から支給されますが、介助者として参加される方には補助金はありません。

令和4年度 慰霊巡拝概要

	派遣地域	実施予定時期	実施期間	募集予定人員	申込締切日
1	カザフスタン共和国	8月23日（火）～9月3日（土）	12日間	15名	5月6日（金）
2	中国東北地方（旧満州地区全域）	8月31日（水）～9月9日（金）	10日間	15名	5月13日（金）
3	インドネシア	9月6日（火）～9月14日（水）	9日間	15名	5月6日（金）
4	東部ニューギニア	9月10日（土）～9月17日（土）	8日間	20名	5月6日（金）
5	イルクーツク州・ブリヤート共和国	9月12日（月）～9月23日（金）	12日間	15名	5月27日（金）
6	ハバロフスク地方・ユダヤ自治州	9月12日（月）～9月23日（金）	12日間	15名	5月27日（金）
7	ビスマーク諸島	10月8日（土）～10月15日（土）	8日間	10名	6月3日（金）
8	インド	10月20日（木）～10月26日（水）	7日間	15名	6月10日（金）
9	トラック諸島	10月21日（金）～10月26日（水）	6日間	15名	6月14日（火）
10	ミャンマー	11月10日（木）～11月18日（金）	9日間	15名	6月15日（水）
11	フィリピン（1班）	2月16日（木）～2月23日（木）	8日間	80名	9月7日（水）
	フィリピン（2班）				
	フィリピン（3班）				
12	硫黄島（1次）	11月中旬	2日間	100名	—
13	硫黄島（2次）	3月上旬	2日間	100名	—

ホームページ随時更新中!!

アクセス数 121,458

(R4.2.28現在)

各種行事、記念館の語り部事業、慰霊巡拝等の最新の情報をお知らせしています。

携帯・パソコンで [徳島県遺族会](#) もしくは [徳島県戦没者記念館](#) と入力

ホームページのアドレス URL <http://izokukai.jp/>

携帯電話のバーコードリーダーで右記QRコードを読み込んで下さい。



語り部事業のご案内

4・5・6月は感染症予防対策として、日程・会場を変更して開催いたします。
(7月以降はこれまで通り、第2土曜日に開催)

会場：護国神社参集殿 13:30～14:30

●第68回 3月12日（土）「海外戦跡慰霊巡拝に参加して」 近藤 隆弘氏（82）（板野郡）

●第69回 4月17日（日）「子ども、若者に戦争体験を語り繋ぐこと」

※第2土曜日から変更

大西 浩正氏（NPO法人牟岐キャリアサポート理事長）

●第70回 5月22日（日）「未定」

※第2土曜日から変更

春藤 嘉雄氏（91）（板野郡）

沖縄県「平和祈願慰霊大行進」参加者募集

この二年間、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催が中止されたが、昭和三十七年から毎年続けてきたこの平和運動を途絶えさせないよう、日本遺族会は共催の沖縄県遺族連合会とも感染防止対策等を検討し、今年の実施に向け準備を進めています。

1. 実施期間

令和四年六月二十二日(水)～二十四日(金)【二泊三日】

2. 参加資格及び留意点

①全戦域における戦没者の遺族

ご家族、慰霊友好親善事業、戦跡巡拝等に参加した際の仲間内でのご参加も歓迎いたします。また、孫・ひ孫等の若い世代の方(青年部)もご参加お待ちしております。

②八・五kmの道程を行進できる心身ともに健康な方

3. 参加費用

三万五千円～四万円程度

(那覇空港までの往復航空運賃及び那覇空港から宿泊先までの往復交通費は含まれておりません。各自で手配・負担をお願いします。)

4. 申込方法

令和四年四月二十五日(月)までに県遺族会事務局へ

※感染状況によっては、開催中止となる場合があります。必ずことをあらかじめご了承願います。

祝百歳

芦谷 キヌコ さん (牟岐町)



海部郡牟岐町辺川の芦谷キヌコさんが、令和4年1月9日にめでたく百歳の誕生日を迎えられ牟岐町役場町長室で徳島県、牟岐町、県遺族会よりお祝状と記念品、花束が贈呈されました。

牟岐町遺族会よりお祝金をお渡ししました。

キヌコさんは大正11年に牟岐町灘で生まれ、昭和18年に芦谷實さんと結婚、夫と夫の弟さんの二人が出征しました。夫は生還しましたが、弟の芦谷進さんは沖縄で戦死しました。終戦後は夫と共に農業(米と柚子酢)に従事しながら二人の女の子を育てました。

夫が10年前に亡くなった後も一人で柚子酢造りと畑仕事をしながら好きな国会中継のテレビをよく観ていましたが、2年程前から足腰が弱くなり町内の介護老人保健施設に入所しています。

親族によりますと、昨年の秋に体調を崩しておりましたが、施設の方々の適確な判断による看護や手厚い介護のおかげで体調も回復し、100歳を迎えることができました。

施設の皆様に感謝しています。

現在はコロナの影響で面会はできませんが、99歳から初めて持った携帯電話で親族との対話を楽しんでいます。

これからもお元気で過ごされますよう心よりご祈念申し上げます。

牟岐町遺族会 会長 坂千代 克彦

森本 光子 さん (阿波市)



阿波市市場町上喜来の森本光子さんが、令和4年1月1日にめでたく満百歳のお誕生日を迎えられました。徳島県、阿波市、徳島県遺族会、大俣地区遺族会よりお祝い状や記念品、祝い

金を令和4年1月7日に贈られました。光子さんは、ご主人と弟さんが戦死されました。その後は、両親ともに子育てをしながら農業、養蚕、炭焼をされていました。現在は、孫2人、ひ孫3人に恵まれています。長寿の秘訣は、神仏を大切に毎朝、手を合わせてよく食べ、よく寝て、大きな声でよくしゃべり、よく歌うこととお伺いしました。毎日休まずデイサービスに通われています。

これからもお元気で過ごされますよう、会員一同心よりご祈念申し上げます。

大俣地区遺族会 会長 坂東 照伸

梶田 静子 さん (小松島市) (大正11年1月22日生れ)



小松島市遺族連合会

地方だより

令和三年度日和佐護国神社例大祭

令和三年度の日和佐護国神社例大祭を令和三年十月二十七日に挙行しました。

ここにお祭りしている英霊は明治、大正、昭和の三代に亘り犠牲となられました五百八名の英霊を合祀しています。

このお社は昭和五十二年十月二十七日に戦没者の妻達が主になり建立、建立以来四十四年になります。毎年遺児の皆様が引き継いで十月二十七日に例大祭を行いお守りしています。

宮司さんの祭文の後、遺族会役員数名が玉串を捧げて、戦没者の慰霊と平和な生活が続くよう祈願しました。

美波町日和佐遺族会
会長 高島 英生



令和三年度上板町戦没者追悼式挙行

上板町では十一月十九日(金)午前十時より、上板町中央公民館二階にて、令和三年度の「上板町戦没者追悼式」が行われました。

例年は五月に開催し、多くの来賓の方々をお迎えし、参列者全員で献花等を行っておりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、十一月に時期をずらし開催いたしました。来賓として上板町遺族会の会長含め地区役員十八名と上板町議会議長、副議長二名の参列により規模縮小にて実施致しました。

式典は拝礼、黙祷に続き、松田町長からの追悼の言葉、参列者の献花、上板町遺族会吉田会長の謝辞と厳粛にすすめられ、英霊のご冥福と平和の継承をお祈りしました。



板野町戦没者をしのぶ献花

令和三年十一月二十七日、町遺族会員が東地区、西地区、南地区の町内三地区にある忠魂碑を清掃後、板野町六百五十三人の戦没者へ献花を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年引き続き追悼式は中止となりましたが、戦没者への追悼を表したいと玉井孝治町長や遺族関係者で感染対策を行った上で献花が行われました。

町遺族会の近藤隆弘会長は「戦死した父親の記憶が、出征直前のわずかなものしかない。こんな思いを次世代の子どもにさせないためにも、戦争は決して繰り返してはならない」と語り平和を希望されていきました。最後に近藤会長が読経する中、遺族らが御霊へ献花し、冥福を祈りました。

板野町遺族会



令和三年度阿南市戦没者追悼式

阿南市戦没者追悼式が令和三年十一月二十七日午前十時から阿南市文化会館において執り行われました。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり二年ぶりの開催となりましたが、感染拡大防止と参列者の安全面を考慮して各地区遺族会代表、主催者のみの例年よりも小規模な式典となり六十人程の関係者が参列しました。

黙祷を捧げ、阿南市長の式辞のあと、阿南市遺族連合会池添会長は追悼のこゝろの中で「二度と戦争の惨禍を繰り返さないよう戦争の悲惨さ平和の尊さを次世代に伝え、青年部活動を積極的に支援協力していく」と述べました。続いて献花に移り、参列者一人ひとりが菊花を祭壇に献じ戦没者のご冥福を祈りました。

最後に戦没者遺族を代表して富岡地区遺族会松原会長が謝辞を述べ、再び悲しみの歴史を繰り返すことのないよう改めて心に誓う追悼式となりました。

阿南市遺族連合会



徳島県遺族会と日本遺族政治連盟徳島県本部は、6月22日公示、7月10日投票予定の第26回参議院議員通常選挙における推薦候補として、徳島・高知選挙区の中西祐介さん（自民党・現在二期目）と日本遺族会会長で全国比例区の水落敏栄さん（自民党・現在三期目・新潟県出身）を全面的に支援することを決定しました。

お二人には4月23日（土）の役員等研修会でご報告をいただく予定です。

『参院選候補』推薦決定



水落 敏栄
(全国比例代表)



中西 祐介
(徳島・高知選挙区)

第11回特別弔慰金請求手続きについて
令和5年3月31日までにご請求ください。

支給対象となる方

令和2年4月1日（基準日）において、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」等を受ける方（戦没者等の妻や父母）がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族お一人に特別弔慰金が支給されます。

戦没者等の死亡当時のご遺族で

- 1 令和2年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方
- 2 戦没者等の子
- 3 戦没者等の①父母、②孫、③祖父母、④兄弟姉妹
 - ※ 戦没者等の死亡当時、生計関係を有していること等の要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。
- 4 前記1から3以外の戦没者等の三親等内の親族（甥、姪等）
 - ※ 戦没者等の死亡時まで引き続き一年以上の生計関係を有していた方に限ります。
 - ※ 請求手続きの簡素化のため「同意書」が廃止されたので、同順位の方が複数いる場合は、話し合いのうえ、代表して請求する方を決めてください。

支給内容

額面25万円、5年償還の記名国債

請求期間

令和2年4月1日から令和5年3月31日まで

請求窓口

お住まいの市町村の援護担当課

遺族会の動き

令和四年一月～令和四年二月行事

(一月)

- 8日 正副会長会
- 8日 語り部事業（護国神社）
- 14日～23日 第12回特別企画展（戦没者記念館）
- 26日 日本遺族会事務局長会議（千代田会館）※延期
- 27日 日本遺族会女性部長会議（千代田会館）※延期
- 28日 日本遺族会青年部長会議（千代田会館）※延期
- 中旬 海外慰霊巡拝（台湾・バシー海峡）※中止

(二月)

- 12日 語り部事業（護国神社）
- 12日～14日 日本遺族会青年部研修会（鹿児島県）※中止
- 23日 日本遺族会第4ブロック事務局長会（岡山県）
- 25日 理事・監事・評議員等研修会（護国神社）
- 28日 父の像清掃・第4ブロック（徳島市中央公園）

令和四年三月～令和四年五月行事予定

※新型コロナウイルス感染症対策のため変更となる場合があります。

- (三月)
- 12日 正副会長会、記念館運営企画委員会（護国神社）
- 12日 語り部事業（護国神社）
- 25日 理事会、記念館奉賛会総会（護国神社）
- 27日～28日 春の靖国神社参拝（靖国神社）他 ※中止

(四月)

- 17日 語り部事業（護国神社）
- 中旬 市町村遺族会事務局長会議（護国神社）
- 下旬 英霊にこたえる会総会等（東京）
- 下旬 女性部役員会（護国神社）
- 下旬 青年部役員会（護国神社）
- 23日 役員等研修会（徳島クランヴィリオホテル）

(五月)

- 中旬 父の像清掃・第5ブロック（徳島市中央公園）
- 22日 語り部事業（護国神社）
- 下旬 日本遺族会女性部長会議（千代田会館）
- 下旬 日本遺族会青年部長会議（千代田会館）
- 下旬 正副会長会（護国神社）